

# 久保忠一後援会ニュース

活動報告新年号 2011年元旦発行

発行者 鴨川市議会議員

久保忠一(くぼただかず)

住所 東条地区広場1709番地 1960年3月9日 生所属団体・役職  
エビハラ病院(薬剤師・ケアマネ)、NPO法人床ずれ研究会(代表)、日本褥瘡  
学会(千葉県支部実行委員)、認定NPO法人生活情報推進ネットワーク(副  
代表)など

## 連絡先

090-7402-3941

FAX: 04-7093-6030

E-mail: qqbm5s5w9

@able.ocn.ne.jp

携帯メール

toppie.nozomi@docomo.ne.jp

住所: 東条地区

広場1709番地



ごあいさつ

昨年度の鴨川市議選におきましては皆様方からの力強いご支援のおかげで初当選を果たすことができました。昨年中に賜りましたご厚情に厚く感謝いたしますと共に本年も変わらぬご指導のほどお願い申し上げます。

さて、二〇〇二年から二〇〇七年ころまで、史上最長の好景気と言われながら、消費は伸びず、デフレが進む日本の経済状態には根本的な問題が潜んでいると考えます。

若年層に対しては、採用と賃金抑制、派遣社員化、そして派遣切りなどアメリカ流と言われる合理化が行われながらも、中堅以上幹部社員に対しては給料抑制があまり行われないうような不自然な合理化が進んだ結果と考えます。企業の内部留保

があっても株主への配当に回るため所得が増えるのは高齢者富裕層のみで、その高齢者層も老後の医療介護費用の不安のため貯蓄を消費に回さず、構造的な問題を呈していると考えております。日本の不況は国際競争に負けた結果ではなく、そのほとんどの要素が内部の問題から生ずる内需不振に他ならないと考えます。一方、政府・行政の運営姿勢と効率の問題は、国、地方とも多額の借金を背負う結果を残すことにもなり、長期的な展望も持てない状態です。

今後、政府はこのような本質的問題に取り組み、いち早く不況から脱出すべきですが、一生懸命働くものの代表である我々連合推薦議員も、ひとりでも多い雇用の確保と賃金の改善、ま

た働きやすい環境づくりなどに精一杯に努力しなければなりません。また、より良い行政運営にも尽力して参ります。

私は医療と観光が基幹産業である鴨川において、この二つの振興のための一般質問等を行いながら地域に於いて活動を行ってまいりました。新しい鴨川を目指して、新しいユニークな発想で切り開いていこうと考えております。ここに、昨年初当選以降の活動報告をさせて頂きます。活動の中には、議会活動以外の個人としての活動も含まれますが、直接、間接に将来の鴨川のためになると考えられることは掲載いたしました。

末筆ながら、皆様方のご健康とご発展を心よりお祈り申し上げます。